

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 城西医療学園

(2) 大学名

日本医療科学大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒350-0435

埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シドウノチ) 新藤 宣夫 (現職就任 平成18年12月)	(シドウ ヒロキ) 新藤 博明 (現職就任 令和3年6月)	・令和3年6月 前理事長辞任の為 新藤博明学長が兼任 (4)
学長	(シドウ ヒロキ) 新藤 博明 (現職就任 平成29年4月)	変更なし	
学部長	(チカキイサ) 中谷 儀一郎 (現職就任 平成29年4月)	(イトウ ヨシタケ) 伊藤 芳保 (現職就任 令和5年4月)	・令和5年3月 前学部長が副学長就任の為 令和5年4月より 伊藤芳保が新任 (5)
学科長等	(イトウ ショウジ) 伊藤 昭三 (現職就任 令和3年4月)	変更なし	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
 令和5年度に報告する内容 → (5)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和5年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学部 臨床検査学科 学士(臨床検査学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリ)	4年	80人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	320人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	—	—	—	—	—	—	—	80	80	80	80	80	80	1.05倍	—倍	0.99倍	—倍	
	志願者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	389	(—)	(—)	338	(—)	303					
	受験者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	378	(—)	(—)	330	(—)	288					
	合格者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	346	(—)	(—)	217	(—)	178					
B	入学者数	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)	92	(—)	(—)	87	(—)	75					
	入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	1.15	1.08	0.93								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	-	-	89	-	82	-	75	-	-	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	-	-	83	-	87	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(9)
3年次					-	-	-	-	-	-	72	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	89	-	165	-	234	-	-	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(9)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、**その他の学期欄は「-」**を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	92人	3人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	3人	人	就学意欲の低下(3人)
令和4年度	179人	11人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	6人	人	就学意欲の低下(2人)、学力不足(1人)、体調不良(2人)、除籍(1人)
			令和4年度	5人	人	就学意欲の低下(3人)、学力不足(1人)、他の教育機関への転学(1人)
令和5年度	254人	6人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	2人	人	学力不足(2人)
			令和4年度	4人	人	学力不足(4人)
			令和5年度	人	人	
合計		20人		20人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。〔在学者数から退学者数を減らす必要はありません。〕
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{92} = \boxed{3.26} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{11}{179} = \boxed{6.14} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{254} = \boxed{2.36} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 臨床検査学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	哲学	1前		2								1
	生命倫理学	1前	2									1
	心理学	1後		2								1
	教育学	1前		2								1
	文学	1後		2								1
	社会学	1後		2								1
	歴史学	1後		2								1
	国際関係論	1後		2								1
	比較文化論	1後		2								1
	法学	1前		2								1
	経済学	1後		2								1
	コミュニケーション論	1前	2									1
	生物学	1前		2								1
	物理学	1前		2								1
	化学	1前		2			1					
	数学	1前		2								1
	医療保健統計学	1後		2								1
	国際保健学	1後		2								1
	文章表現演習	1前		2								1
	情報リテラシー	1前	2				1					1
	基礎ゼミ	1前	2			7	5		1			
	体育 I (演習を含む)	1前		1								1
	英語 I (基礎英語)	1前	2									1
	英語 II (文献講読)	1後		1								1
	医療英語	1後		1								1
	実践英語	1後		2								1
	中国語	1後		1								1
小計 (27科目)	—	—	11	39	0	7	5	0	1	0		
専門基礎科目	解剖学 I (総論)	1前	1			1						
	解剖学 II (各論)	1前	1			1						
	解剖学実習	1後	1			2						2
	薬理学	1後	1									1
	生理学 I (総論)	1前	1			1						
	生理学 II (各論)	1後	1			1						
	生理学実習	2前	1			1			1			2
	生化学 I (生体物質)	1後	1				1					
	生化学 II (代謝と臓器)	2前	1				1					
	生化学実習	1後	1			1	1			1		1
	チーム医療概論	1前		1								1
	チーム医療演習	1後	1			7	5		1			7
	病理学 I (総論)	1後	1			1						
	病理学 II (各論)	2前	1			1						
	微生物学	1後	1			1						
	免疫学	2前	1			1						
	血液学	2前	1				1					
	公衆衛生学 (関係法規を含む)	3前	1			1						
	公衆衛生学実習	3前	1			1	1					2
	医学概論	1前	1									1
	医療リスクマネジメント	4後		1		1						
	在宅医療概論	2後	1									1
	救命救急医学	2後		1								1
	保健医療福祉総論	4前	1			1						1
	環境化学	4前		1		1	1					
	臨床検査概論	1前	1				1					
	情報科学概論	1後	1				1					1
検査機器総論 (実習を含む)	1前	1			1	1					2	
医用工学概論	1前	2				1						
医用工学実習	1後	1				1			1		5	
小計 (30科目)	—	—	27	4	0	7	5	0	1	0		

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	哲学	1前		2								1
	生命倫理学	1前	2									1
	心理学	1後		2								1
	教育学	1前		2								1
	文学	1後		2								1
	社会学	1後		2								1
	歴史学	1後		2								1
	国際関係論	1後		2								1
	比較文化論	1後		2								1
	法学	1前		2								1
	経済学	1後		2								1
	コミュニケーション論	1前	2									1
	生物学	1前		2								1
	物理学	1前		2								1
	化学	1前		2				1				
	数学	1前		2								1
	医療保健統計学	1後		2								1
	国際保健学	1後		2								1
	文章表現演習	1前		2								1
	情報リテラシー	1前	2				1					1
	基礎ゼミ	1前	2			7	5			2		
	体育 I (演習を含む)	1前		1								1
	英語 I (基礎英語)	1前	2									1
	英語 II (文献講読)	1後		1								1
	医療英語	1後		1								1
	実践英語	1後		2								1
	中国語	1後		1								1
小計 (27科目)	—	—	11	39	0	7	5	0	2	0		
専門基礎科目	解剖学 I (総論)	1前	1			1						
	解剖学 II (各論)	1前	1			1						
	解剖学実習	1後	1			2						3
	薬理学	1後	1									1
	生理学 I (総論)	1前	1			1						1
	生理学 II (各論)	1後	1			1						
	生理学実習	2前	1			1				2		3
	生化学 I (生体物質)	1後	1				1					
	生化学 II (代謝と臓器)	2前	1				1					
	生化学実習	1後	1			1	1			1		2
	チーム医療概論	1前		1								1
	チーム医療演習	1後	1			7	5			1		7
	病理学 I (総論)	1後	1			1						
	病理学 II (各論)	2前	1			1						
	微生物学	1後	1			1						
	免疫学	2前	1			1						
	血液学	2前	1				1					
	公衆衛生学 (関係法規を含む)	3前	1			1						
	公衆衛生学実習	3前	1			1	1					2
	医学概論	1前	1									1
	医療リスクマネジメント	4後		1		1						
	在宅医療概論	2後	1									1
	救命救急医学	2後		1								2
	保健医療福祉総論	4前	1			1						1
	環境科学	4前		1		1	1					
	臨床検査概論	1前	1				1					
	情報科学概論	1後	1				1					1
検査機器総論 (実習を含む)	1前	1			1	1					3	
医用工学概論	1前	2				1						
医用工学実習	1後	1				1			1		6	
小計 (30科目)	—	—	27	4	0	7	5	0	2	0		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床医学総論	1後	2								1
	臨床検査医学総論	2前	2								1
	病態解析学	4前	2			7	4				
	病理検査学	2前	2			1					
	病理検査学実習Ⅰ(組織診)	2後	1			2					2
	病理検査学実習Ⅱ(細胞診)	3前	1			2					2
	血液検査学	2前	2				1				
	血液検査学実習	2後	2				1				3
	医動物学(実習を含む)	2前	1				1				3
	臨床化学検査学Ⅰ(総論)	2前	2			1					
	臨床化学検査学Ⅱ(各論)	2後	2			1	1				
	放射性同位元素検査技術学(実習を含む)	3前	1			1	1				2
	臨床化学検査学実習	2後	2			1	2				1
	一般検査学	1後	2				1				
	一般検査学実習	2前	2				1				3
	微生物検査学	1後	2			1					
	微生物検査学実習	3前	2			1					3
	免疫検査学	2前	2			1					
	免疫検査学実習	3前	2			1			1		2
	遺伝子検査学	2後	1				1				
	遺伝子検査学実習	2後	1				1				3
	生理検査学Ⅰ(生理学的検査)	2前	1			1					
	生理検査学Ⅱ(臨床生理学的検査)	2後	1			1					
	生理検査学実習Ⅰ(生理学的検査)	2後	1			1			1		2
	生理検査学実習Ⅱ(臨床生理学的検査)	3前	1			1			1		2
	医療放射線学概論	2前	2			1					5
	画像検査学Ⅰ(エコー)	2後	1			2					2
	画像検査学Ⅱ(MRI)	3前	1			1					2
	画像検査学実習	3前	1			2			1		7
	臨床検査学系英文講読A(基礎編)	4前		1							1
臨床検査学系英文講読B(応用編)	4前		1							1	
医療保健統計学特講	4前		2							1	
臨床検査学特講	4前		2		1						
検査管理総論	3前		2		1						
医療情報処理演習Ⅰ(基礎編)	1後		1							1	
医療情報処理演習Ⅱ(応用編)	2後		1							1	
臨床検査学総合演習	4通		4		7	5		1			
卒業研究	4通		4		7	5		1			
人間工学	2後		1			1					
衛生管理学	4前			2						1	
労働安全衛生法	4前			2	2						
医療安全管理学	4前		1		2	1					
学内臨床実習	3後		1		6	3		1			
臨地実習	3後		11		6	3		1			
小計(44科目)	—		71	10	0	7	5	0	1	0	
合計(101科目)	—		109	53	0	7	5	0	1	0	

卒業要件及び履修方法

必修科目109単位、基礎教育科目の選択科目から13単位以上、専門基礎科目の選択科目から2単位以上、専門科目の選択科目から3単位以上を修得し、合計127単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：1年次48単位、2年次46単位、3年次46単位、4年次22単位(年間))

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床医学総論	1後	2								1
	臨床検査医学総論	2前	2								1
	臨床病態学	3前	1				5	3			
	病態解析学	4前	2			7	4				
	血液検査学	2前	2				1				
	血液検査学実習	2後	2				1			1	5
	病理検査学	2前	2				1				
	病理検査学実習Ⅰ(組織診)	2後	1				2				2
	病理検査学実習Ⅱ(細胞診)	3前	1				2				2
	病理組織細胞学	4後	1				1				
	一般検査学	1後	2				1				
	一般検査学実習	2前	2				1			1	5
	医動物学(実習を含む)	2前	1				1				3
	生化学的検査学Ⅰ(総論)	2前	1				1				1
	生化学的検査学Ⅱ(各論)	2後	1				2	1			
	免疫学的検査学	2前	1				1				1
	放射性同位元素検査技術学(実習を含む)	3前	1			1	1			1	1
	生化学的検査学実習	2後	2				1	1		1	3
	遺伝子・染色体検査学	2後	1				1				
	遺伝子・染色体検査学実習	2後	1				1				3
	輸血・移植検査学	2後	2				1				
	輸血・移植検査学実習	3前	2				1				
	微生物検査学Ⅰ(総論)	1前	2				1				
	微生物検査学Ⅱ(各論)	2後	2				1				
	微生物検査学実習	3前	2				1				3
	生理検査学Ⅰ(生理学的検査)	2前	1				1				
	生理検査学Ⅱ(臨床生理学的検査)	2後	1				1				
	生理検査学実習Ⅰ(生理学的検査)	2後	1				1			2	3
	生理検査学実習Ⅱ(臨床生理学的検査)	3前	1				1			1	3
	医療放射線学概論	2前	2				1				6
画像検査学Ⅰ(エコー)	2後	1				2				2	
画像検査学Ⅱ(MRI)	3前	1				1				1	
画像検査学実習	3前	1				2			1	8	
生理学的検査解析演習	4後	1				1					
臨床検査学系英文講読A(基礎編)	4前			1						1	
臨床検査学系英文講読B(応用編)	4前			1						1	
医療保健統計学特講	4前			2						1	
臨床検査学特講	4前			2		1					
検査管理総論	3前			2		1				1	
医療情報処理演習Ⅰ(基礎編)	1後			1						1	
医療情報処理演習Ⅱ(応用編)	2後			1						1	
臨床検査学総合演習	4通		4		7	5		1			
卒業研究	4通		4		7	5		1			
人間工学	2後		1			1					
衛生管理学	4前			2						1	
労働安全衛生法	4前			2	2						
医療安全管理学	4前		1		2	1					
学内臨床実習	3後		1		6	3		1			
臨地実習	3後		11		6	3		1			
小計(49科目)	—		73	12	0	7	5	0	2	0	
合計(108科目)	—		111	55	0	7	5	0	2	0	

卒業要件及び履修方法

必修科目111単位、基礎教育科目の選択科目から13単位以上、専門基礎科目の選択科目から2単位以上、専門科目の選択科目から1単位以上を修得し、合計127単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：1年次48単位、2年次46単位、3年次46単位、4年次22単位(年間))

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	哲学	1前		2							1
	生命倫理学	1前	2								1
	心理学	1後		2							1
	教育学	1前		2							1
	文学	1後		2							1
	社会学	1後		2							1
	歴史学	1後		2							1
	国際関係論	1後		2							1
	比較文化論	1後		2							1
	法学	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	コミュニケーション論	1前	2								1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	化学	1前		2		1					
	数学	1前		2							1
	医療保健統計学	1後		2							1
	国際保健学	1後		2							1
	文章表現演習	1前		2							1
	情報リテラシー	1前	2			1					1
基礎ゼミ	1前	2			7	5		2			
体育Ⅰ(演習を含む)	1前		1							1	
英語Ⅰ(基礎英語)	1前	2								1	
英語Ⅱ(文献講読)	1後		1							1	
医療英語	1後	1								1	
実践英語	1後		2							1	
中国語	1後		1							1	
小計(27科目)	一	11	39	0	7	5	0	2	0		
専門基礎科目	解剖学Ⅰ(総論)	1前	1			1					
	解剖学Ⅱ(各論)	1前	1			1					
	解剖学実習	1後	1			2					2
	薬理学	1後	1								1
	生理学Ⅰ(総論)	1前	1			1					
	生理学Ⅱ(各論)	1後	1			1					
	生理学実習	2前	1			1			2		2
	生化学Ⅰ(生体物質)	1後	1			1					
	生化学Ⅱ(代謝と臓器)	2前	1			1					
	生化学実習	1後	1			1	1		1		1
	チーム医療概論	1前		1							1
	チーム医療演習	1後	1			7	5		1		7
	病理学Ⅰ(総論)	1後	1			1					
	病理学Ⅱ(各論)	2前	1			1					
	微生物学	1後	1			1					
	免疫学	2前	1			1					
	血液学	2前	1			1					
	公衆衛生学(関係法規を含む)	3前	1			1					
	公衆衛生学実習	3前	1			1	1				2
	医学概論	1前	1								1
	医療リスクマネジメント	4後		1		1					
	在宅医療概論	2後	1								1
	救命救急医学	2後		1							2
	保健医療福祉総論	4前	1			1					1
	環境科学	4前		1		1	1				
	臨床検査概論	1前	1			1					
	情報科学概論	1後	1			1					1
検査機器総論(実習を含む)	1前	1			1	1				2	
医用工学概論	1前	2			1						
医用工学実習	1後	1			1			1		5	
小計(30科目)	一	27	4	0	7	5	0	2	0		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎科目	哲学	1前		2							1
	生命倫理学	1前	2								1
	心理学	1後		2							1
	教育学	1前		2							1
	文学	1後		2							1
	社会学	1後		2							1
	歴史学	1後		2							1
	国際関係論	1後		2							1
	比較文化論	1後		2							1
	法学	1前		2							1
	経済学	1後		2							1
	コミュニケーション論	1前	2								1
	生物学	1前		2							1
	物理学	1前		2							1
	化学	1前		2			1				
	数学	1前		2							1
	医療保健統計学	1後		2							1
	国際保健学	1後		2							1
	文章表現演習	1前		2							1
	情報リテラシー	1前	2			1					1
基礎ゼミ	1前	2			7	5		1			
体育Ⅰ(演習を含む)	1前		1							1	
英語Ⅰ(基礎英語)	1前	2								1	
英語Ⅱ(文献講読)	1後		1							1	
医療英語	1後	1								1	
実践英語	1後		2							1	
中国語	1後		1							1	
小計(27科目)	一	11	39	0	7	5	0	1	0		
専門基礎科目	解剖学Ⅰ(総論)	1前	1			1					
	解剖学Ⅱ(各論)	1前	1			1					
	解剖学実習	1後	1			2					2
	薬理学	1後	1								1
	生理学Ⅰ(総論)	1前	1			1					
	生理学Ⅱ(各論)	1後	1			1					
	生理学実習	2前	1			1			1		2
	生化学Ⅰ(生体物質)	1後	1			1					
	生化学Ⅱ(代謝と臓器)	2前	1			1					
	生化学実習	1後	1			1	1		1		1
	チーム医療概論	1前		1							1
	チーム医療演習	1後	1			7	5		1		7
	病理学Ⅰ(総論)	1後	1			1					
	病理学Ⅱ(各論)	2前	1			1					
	微生物学	1後	1			1					
	免疫学	2前	1			1					
	血液学	2前	1			1					
	公衆衛生学(関係法規を含む)	3前	1			1					
	公衆衛生学実習	3前	1			1	1				2
	医学概論	1前	1								1
	医療リスクマネジメント	4後		1		1					
	在宅医療概論	2後	1								1
	救命救急医学	2後		1							1
	保健医療福祉総論	4前	1			1					1
	環境科学	4前		1		1	1				
	臨床検査概論	1前	1			1					
	情報科学概論	1後	1			1					1
検査機器総論(実習を含む)	1前	1			1	1				2	
医用工学概論	1前	2			1						
医用工学実習	1後	1			1			1		5	
小計(30科目)	一	27	4	0	7	5	0	1	0		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床医学総論	1後	2								1
	臨床検査医学総論	2前	2								1
	臨床病態学	3前	1			5	3				
	病態解析学	4前	2			7	4				
	血液検査学	2前	2				1				
	血液検査学実習	2後	2				1		1		3
	病理検査学	2前	2			1					
	病理検査学実習Ⅰ(組織診)	2後	1			2					2
	病理検査学実習Ⅱ(細胞診)	3前	1			2					2
	病理組織細胞学	4後	1			1					
	一般検査学	1後	2				1				
	一般検査学実習	2前	2				1		1		3
	医動物学(実習を含む)	2前	1				1				3
	生化学的検査学Ⅰ(総論)	2前	1			1					
	生化学的検査学Ⅱ(各論)	2後	1			2	1				
	免疫学的検査学	2前	1			1					
	放射線同位元素検査技術学(実習を含む)	3前	1			1	1				2
	生化学検査学実習	2後	2			1	1		1		2
	遺伝子・染色体検査学	2後	1				1				
	遺伝子・染色体検査学実習	2後	1				1				3
	輸血・移植検査学	2後	2			1					
	輸血・移植検査学実習	3前	2			1					
	微生物検査学Ⅰ(総論)	1前	2			1					
	微生物検査学Ⅱ(各論)	2後	2			1					
	微生物検査学実習	3前	2			1					3
	生理検査学Ⅰ(生理学的検査)	2前	1			1					
	生理検査学Ⅱ(臨床生理学的検査)	2後	1			1					
	生理検査学実習Ⅰ(生理学的検査)	2後	1			1			2		2
	生理検査学実習Ⅱ(臨床生理学的検査)	3前	1			1			1		2
	医療放射線学概論	2前	2								5
	画像検査学Ⅰ(エコー)	2後	1			2					2
	画像検査学Ⅱ(MRI)	3前	1			1					2
	画像検査学実習	3前	1							1	7
	臨床検査学系英文講義A(基礎編)	4前		1							1
	臨床検査学系英文講義B(応用編)	4前		1							1
	医療保健統計学特講	4前		2							1
	臨床検査学特講	4前		2							1
	検査管理総論	3前		2		1					
	医療情報処理演習Ⅰ(基礎編)	1後		1							1
	医療情報処理演習Ⅱ(応用編)	2後		1							1
	臨床検査学総合演習	4通		4		7	5		1		
	卒業研究	4通		4		7	5		1		
	人間工学	2後		1			1				
	衛生管理学	4前			2						1
	労働安全衛生法	4前			2						
	医療安全管理法	4前			1	2	1				
	学内臨床実習	3後		1		6	3		1		
	臨地実習	3後		11		6	3		1		
	小計(49科目)	—		73	12	0	7	5	0	2	0
合計(106科目)	—		111	55	0	7	5	0	2	0	

卒業要件及び履修方法

必修科目111単位。基礎教育科目の選択科目から13単位以上、専門基礎科目の選択科目から2単位以上、専門科目の選択科目から1単位以上を修得し、合計127単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：1年次48単位、2年次46単位、3年次46単位、4年次22単位(年間))

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床医学総論	1後	2								1
	臨床検査医学総論	2前	2								1
	病態解析学	4前	2				7	4			
	病理検査学	2前	2				1				
	病理検査学実習Ⅰ(組織診)	2後	1				2				2
	病理検査学実習Ⅱ(細胞診)	3前	1				2				2
	血液検査学	2前	2					1			
	血液検査学実習	2後	2					1			3
	医動物学(実習を含む)	2前	1					1			3
	臨床化学検査学Ⅰ(総論)	2前	2				1				
	臨床化学検査学Ⅱ(各論)	2後	2				1	1			
	放射性同位元素検査技術学(実習を含む)	3前	1				1	1			2
	臨床化学検査学実習	2後	2				1	2			1
	一般検査学	1後	2					1			
	一般検査学実習	2前	2					1			3
	微生物検査学	1後	2					1			
	微生物検査学実習	3前	2					1			3
	免疫検査学	2前	2					1			
	免疫検査学実習	3前	2					1		1	2
	遺伝子検査学	2後	1					1			
	遺伝子検査学実習	2後	1					1			3
	生理検査学Ⅰ(生理学的検査)	2前	1					1			
	生理検査学Ⅱ(臨床生理学的検査)	2後	1					1			
	生理検査学実習Ⅰ(生理学的検査)	2後	1					1		1	2
	生理検査学実習Ⅱ(臨床生理学的検査)	3前	1					1		1	2
	医療放射線学概論	2前	2					1			5
	画像検査学Ⅰ(エコー)	2後	1					2			2
	画像検査学Ⅱ(MRI)	3前	1					1			2
	画像検査学実習	3前	1					2			7
	臨床検査学系英文講義A(基礎編)	4前			1						1
	臨床検査学系英文講義B(応用編)	4前			1						1
	医療保健統計学特講	4前			2						1
	臨床検査学特講	4前			2						1
	検査管理総論	3前			2			1			
	医療情報処理演習Ⅰ(基礎編)	1後			1						1
	医療情報処理演習Ⅱ(応用編)	2後			1						1
	臨床検査学総合演習	4通			4		7	5		1	
	卒業研究	4通			4		7	5		1	
	人間工学	2後			1				1		
	衛生管理学	4前				2					1
	労働安全衛生法	4前				2					
	医療安全管理学	4前			1		2	1			
	学内臨床実習	3後			1		6	3		1	
	臨地実習	3後			11		6	3		1	
小計(44科目)	—		71	10	0	7	5	0	1	0	
合計(101科目)	—		109	53	0	7	5	0	1	0	

卒業要件及び履修方法

必修科目109単位。基礎教育科目の選択科目から13単位以上、専門基礎科目の選択科目から2単位以上、専門科目の選択科目から3単位以上を修得し、合計127単位以上修得すること。
(履修科目の登録の上限：1年次48単位、2年次46単位、3年次46単位、4年次22単位(年間))

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

・特になし。

【令和4年度】

・指定規則一部改正のため、「臨床病態学」「病理組織細胞学」「輸血・移植検査学」「輸血・移植検査学実習」「生理学的検査解析演習」を新設。
・指定規則一部改正のため、「臨床化学検査学Ⅰ(総論)」から「生化学的検査学Ⅰ(総論)」、単位数を「2」から「1」に変更。
・指定規則一部改正のため、「臨床化学検査学Ⅱ(各論)」から「生化学的検査学Ⅱ(各論)」、単位数を「2」から「1」に変更。
・指定規則一部改正のため、「免疫検査学」から「免疫学的検査学」、単位数を「2」から「1」に変更。
・指定規則一部改正のため、「臨床化学検査学実習」「免疫検査学実習」を「生化学免疫検査学実習」に統合。
・指定規則一部改正のため、「遺伝子検査学」から「遺伝子・染色体検査学」に変更。
・指定規則一部改正のため、「遺伝子検査学実習」から「遺伝子・染色体検査学実習」に変更。
・指定規則一部改正のため、「微生物検査学」を「微生物検査学Ⅰ(総論)」「微生物検査学Ⅱ(各論)」に分割。
・指定規則一部改正のため、「医療情報処理演習Ⅰ(基礎)」「医療情報処理演習Ⅱ(応用)」の必修・選択の別を「必修」から「選択」に変更。
・(専任)助教1名就任により、「基礎ゼミ」「生理学実習」「血液検査学実習」「一般検査学実習」「生理検査学実習Ⅰ」助教1名増員。

【令和5年度】

・(兼任)講師採用により、「解剖学実習」の兼任・兼任の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
・(兼任)講師採用により、「生理学Ⅰ(総論)」の兼任・兼任の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・(兼任)講師採用により、「生理学実習」の兼任・兼任の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
・(兼任)講師採用により、「生化学実習」の兼任・兼任の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・(兼任)講師採用により、「救命救急医学」の兼任・兼任の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・(兼任)講師採用により、「検査機器総論(実習を含む)」の兼任・兼任の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
・(兼任)講師採用により、「医用工学実習」の兼任・兼任の配置を「講師5」から「講師6」に変更。
・(兼任)講師採用により、「血液検査学実習」の兼任・兼任の配置を「講師3」から「講師5」に変更。
・(兼任)講師採用により、「一般検査学実習」の兼任・兼任の配置を「講師3」から「講師5」に変更。
・(兼任)講師採用により、「生化学的検査学Ⅰ(総論)」の兼任・兼任の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・(兼任)講師採用により、「免疫学的検査学」の兼任・兼任の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
・(兼任)講師退任により、「放射性同位元素検査技術学(実習を含む)」の兼任・兼任の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
・(兼任)講師採用により、「生化学免疫検査学実習」の兼任・兼任の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
・(兼任)講師採用により、「生理検査学実習Ⅰ(生理学的検査)」の兼任・兼任の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
・(兼任)講師採用により、「生理検査学実習Ⅱ(臨床生理学的検査)」の兼任・兼任の配置を「講師2」から「講師3」に変更。
・(兼任)講師の科目担当者変更により、「医療放射線学概論」の兼任・兼任の配置を「講師5」から「講師6」に変更。
・(兼任)講師の科目担当者変更により、「画像検査学Ⅱ(MRI)」の兼任・兼任の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
・(兼任)講師の科目担当者変更により、「画像検査学実習」の兼任・兼任の配置を「講師7」から「講師8」に変更。
・(兼任)講師採用により、「検査管理総論」の兼任・兼任の配置を「講師0」から「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
70 科目	31 科目	0 科目	101 科目	73 科目 [3]	33 科目 [2]	0 科目 [0]	106 科目 [5]	101科目(増減なし)

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						該当なし
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{101} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	令和2年度 駐車場増設(3)					
	校舎敷地	18,825.57㎡	㎡	㎡	18,825.57㎡						
	運動場用地	6,027.00㎡	㎡	㎡	6,027.00㎡						
	小 計	24,825.57㎡	㎡	㎡	24,825.57㎡						
	その他	15,595.00㎡ 11,854.00㎡	㎡	㎡	15,595.00㎡ 11,854.00㎡						
	合 計	40,447.57㎡ 36,706.57㎡	㎡	㎡	40,447.57㎡ 36,706.57㎡						
(2) 校 舎	専 用	24,765.12㎡ (24,765.12㎡)	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
			(㎡)	(㎡)	(24,765.12㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	45 室	演 習 室	7 室	実験実習室	32 室	情報処理学習施設	1 室 (補助職員 一人)	語学学習施設	一 室 (補助職員 一人)	大学全体
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			保健医療学部 臨床検査学科		室 数		14 室	
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本				
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕					〔うち外国書〕	点	点	点
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点					
	大学全体	26,319 [611]	138 [24] 117 [17]	4,484 [1,762]	1,227 1,027	4,522 4,200 3,381	161 147	図書・雑誌・聴覚 資料の増減分は新規 購入及び廃棄の為(5)			
計	26,319 [611]	138 [24]	4,484 [1,762]	1,227	4,522 4,200 3,382	161 148	図書・雑誌・聴覚 資料の増減分は新規 購入及び廃棄の為(4)				
(6) 図 書 館	面 積	731.02㎡		閱 覧 座 席 数	262 235	収 納 可 能 冊 数	20194 18000				
	面 積		2,056.72㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要		フットサルコート 1 面 テニスコート 4 面				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度			
		教員 1 人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	9,260千円	8,000千円	8,000千円			
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	354,000千円	50,000千円	50,000千円				
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用費、雑収入									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	日本医療科学大学									平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	—	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	—	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
	年	人	年次人	人		倍	倍	倍	倍	年度	年度						
保健医療学部	4	410	0	1640	—	1.09	1.08	1.08	1.02	—	平成19	埼玉県入間郡毛呂山町下川原1276					
診療放射線学科	4	90	0	360	学士(診療放射線学)	1.22	1.21	1.23	1.13	—	平成19	同上					
リハビリテーション学科	4	120	0	480	—	0.99	0.98	1.01	0.92	—	平成19	同上					
理学療法学専攻	4	80	0	320	学士(理学療法学)	1.10	1.09	1.11	1.03	—	平成19	同上					
作業療法学専攻	4	40	0	160	学士(作業療法学)	0.77	—	0.81	—	—	平成19	同上					
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.11	1.11	1.08	1.05	—	平成24	同上					
臨床工学科	4	40	0	160	学士(臨床工学)	1.06	—	1.06	1.00	—	平成24	同上					
臨床検査学科	4	80	0	320	学士(臨床検査学)	1.05	—	0.99	—	—	令和3	同上					
大学全体	4	410	0	1640	—	—	—	—	—	—	—	—					

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	5	0	1	13	0	7	5	0	2	14	0
(4)	(5)	(0)	(1)	(10)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	5	0	2	14	0	7	5	0	2	14	0
[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、**認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。**（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	3 名	4 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{13} = \boxed{107.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{14} = \boxed{21.42} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後には辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後には、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{10} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
届出時 (令和2年)	<ul style="list-style-type: none"> 完成年度前に、定年規定に定める退職年齢を超える専任教員の割合が比較的高いことから、定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用の将来構想について着実に実施すること。 	遵守事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の定年規定の趣旨を踏まえた適切な運用の将来構想について検討している。(3) ・ 中長期計画に基づき、令和4年度は、第一段階として助教1名を増員した。(4) ・ 令和5年度は、新たに副学科長を選出し、将来構想を実施していく。(5) 	履行中 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、中長期計画に基づく雇用体制を構築していく。(3) ・ 教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、中長期計画に基づく、更なる雇用体制を構築していく。(4) ・ 教育研究水準に支障をきたさず世代交代が円滑に行われるよう、中長期計画に基づく、更なる雇用体制を構築していく。(5)
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 臨床検査学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>令和3年度（2021）入学試験日</p> <p>総合型選抜 I期(10/17)・II期(12/23)</p> <p>学校推薦型選抜 指定校I期(11/14)・指定校II期(12/12) 公募A(11/14)・公募B(12/12)</p> <p>社会人特別選抜 (12/12)</p> <p>大学入試共通テスト利用選抜 前期(1/15)・後期(1/16)</p> <p>一般選抜 I期(2/5)・II期(2/26) 特別(3/13)</p>	<p>令和6年度（2024）入学試験日 【資料①】</p> <p>総合型選抜 I期(10/15)・II期(11/12) III期(2/17)・IV期(3/16) 特別I期(12/26)・特別II期(11/21)</p> <p>学校推薦型選抜 指定校I期(11/19)・指定校II期(12/17) 公募A(11/19)・公募B(12/17)</p> <p>社会人特別選抜 (12/17)</p> <p>大学入試共通テスト利用選抜 前期(1/13)・後期(1/14)</p> <p>一般選抜 I期(2/5)・II期(2/24) 特別(3/9)</p> <p>※入学志願者が年々減少傾向にあり、入学定員を確保するため、令和5年度の入学試験において、臨時として入学試験「総合型選抜 特別」を設けた。 令和6年度の入学試験は、総合型選抜（III期、IV期、特別I期、特別II期）の入試日を増やし、6期に分けて行う。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

令和5年度報告

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・規定に基づき、日本医療科学大学にFD委員会を設置している 【資料②】日本医療科学大学FD委員会規程

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和4年度は、各学科・科および専攻から専任の教員を7名、教務課職員3名の10名の委員によるFD委員会を6回開催した。令和5年度については、専任の教員7名、職員2名の9名の委員でFD委員会の開催を予定している。

【令和4年度】

- 第1回 令和4年 4月26日（教員7名中6名出席 事務員3名中3名出席）
- 第2回 令和4年 5月31日（教員7名中7名出席 事務員3名中3名出席）
- 第3回 令和4年 6月25日（教員7名中7名出席 事務員3名中3名出席）
- 第4回 令和4年 8月 1日（教員7名中7名出席 事務員3名中3名出席）
- 第5回 令和4年11月 8日（教員7名中5名出席 事務員3名中3名出席）
- 第6回 令和5年 3月 7日（教員7名中7名出席 事務員3名中3名出席）

【令和5年度】

- 第1回 令和5年 4月27日（教員7名中6名出席 事務員2名中2名出席）

c 委員会の審議事項等

- ・教育FD動画コンテンツの配信について
- ・FD研修会について
- ・授業評価アンケートについて
- ・教育活動自己評価アンケートについて
- ・各学科、専攻のFD活動のまとめについて
- ・グッド・ティーチング・アワードの受賞者の選定について
- ・公開授業について

② 実施状況

a 実施内容

- ・令和3年度グッド・ティーチング・アワード表彰式
- ・公開授業の様子を本学HPへ掲載
- ・授業方法についての研究会
- ・オンデマンド授業の実施報告会
- ・教員技術向上のための講習会
- ・教員相互の授業参観
- ・公開授業の実施要領(案)及び公開授業見学シートの作成

b 実施方法

- ・対面
- ・オンデマンド
- ・オンライン

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD研修会[令和4年9月5日]教員91名中91名の参加（オンライン・当日欠席者はオンデマンド形式で視聴）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケートの見直しを行う
- ・教育活動自己評価アンケートの見直しを行う
- ・授業評価アンケートの学生への開示について、次年度以降実施できるよう検討していく
- ・自己評価アンケートはフィードバックし、改善の方策を立てている

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前期及び後期の授業終了後（Webで実施）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員へ個別に公開している

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では「医療系総合大学」「医療系総合保健医療学部」という特色を生かし、全ての学科の学生が合同で課題に取り組むチーム医療教育に力を入れている。チーム医療や多職種連携の担い手として保健医療領域で活躍できる医療人材の養成に特に重点を置いている。今回、保健医療学部臨床検査学科を開設する第一の目的は、社会で活躍できる優れた臨床検査技師を輩出していくことである。

豊かな人間性と高い倫理観及び高度な知識や技術、さらには保健・医療・福祉の各領域に対する深い理解をもとに、チーム医療の一員として領域の発展に貢献し続けていく医療人の養成を行っている。

「臨床検査技師学校養成所指定規則の一部を改正する省令の公布について(通知)」の発出を受け、カリキュラムの見直しを行い、社会が求めている新たな臨床検査技師教育の充実を図るため、令和4年4月1日より教育課程の変更を行った。

令和5年度、開設3年目を迎えた。新型コロナウイルス感染症の蔓延防止を踏まえ、前年度に引き続き感染防止対策を徹底した。オープンキャンパスにおいては、令和4年度よりオンライン個別相談やナイトオープンキャンパス等を取り入れたが、他学科を含め志願者が年々減少傾向にあるため、新たに入試日(総合型選抜(特別Ⅱ期))を設けて定員の確保に務めた。令和6年度入試においては、総合型選抜を6期に分けて入学試験を行う。

学力不足・意欲低下による退学者については、個別面談や放課後の補習等を行ってきたが、除籍等を含めた退学者が16名となった。これらを踏まえ、教員・保護者間での連携を深め、学生へのサポートを強化していく。

届出時の附帯事項においては、中長期計画に基づき順調に進めている。令和5年度より副学科長を置き、世代交代の準備を整えていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表時期

- ・「令和元年度自己点検・評価報告書」 令和2年3月に公表済み

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公表済み
- ・公益財団法人 日本高等教育機構のホームページ 公表

③ 認証評価を受ける計画

- ・本学は、文部科学大臣が認証する公益財団法人日本高等教育評価機構による2回目の認証評価(第三者評価)を受け、同機構が定める大学評価基準を満たしていると認定された。

令和元年度に評価結果は大学ホームページ上に公開済み。

令和8年までに3回目の認証評価(第三者評価)を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）	
a 公表予定の有無	[<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無]
《 aで「有」の場合》	
b 公表（予定）時期	[調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
c 公表方法	[<u>ウェブサイトへの掲載</u> ・ その他（ ）]
《 aで公表「無」の場合》	
d 公表しない理由	[]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。